

## 巡検・セミナー開催のご案内

令和2年度の巡検・セミナーについては、新型コロナウイルスの終息後に実施いたします。

## 展覧会情報

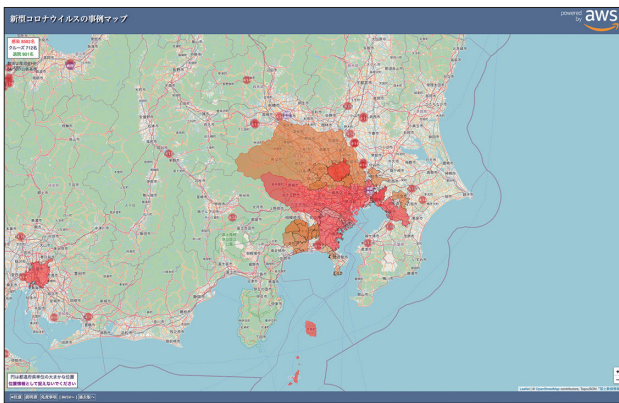
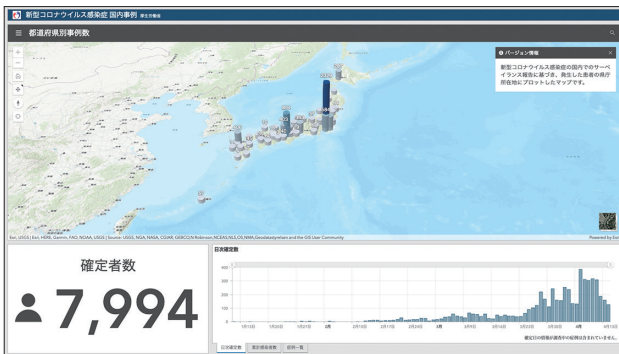
## mini地図NEWS

### ▶ネットワーク時代の感染症と地図

ジョン・スノーが1854年にロンドンで発生したコレラを地図によって突き止めたことを契機に、感染症の広がりを面で捉えるため、地図が活用されました。

今回の新型コロナウイルス(COVID-19)はデジタルネットワーク時代初の大規模感染例であり、対応した様々なサイトやアプリが登場しています。これらの情報を活用し安全・健康な生活を維持できるようつとめ、自分・家族・多くの人々を感染症から守りましょう。

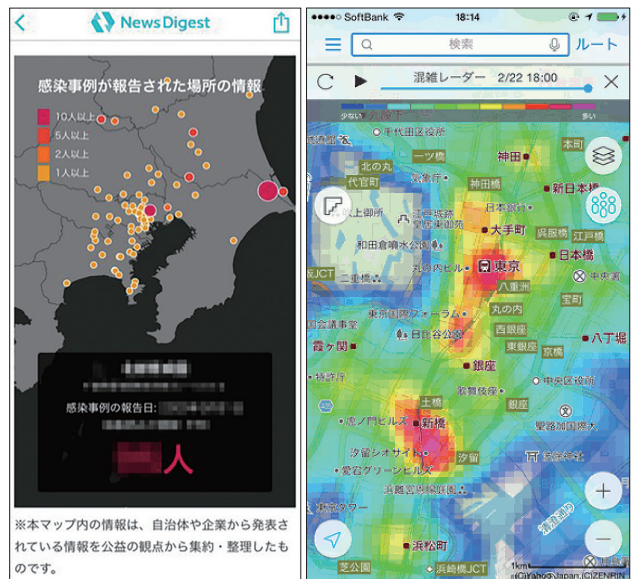
事例は日本を対象とし、主に4月16日に収集しました。



上はESRIジャパン、下はAWSが提供している新型コロナウイルス情報。いずれも感染確定者数を地図やグラフを用いてわかりやすく示している。ただしデータは厚生省や自治体から提供のもので、リアルタイムではない。

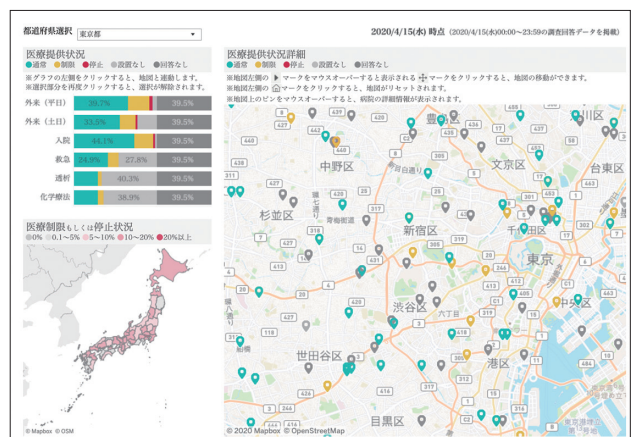
開催にあたっては参加の皆様の安全面に考慮した計画といたします。再開の際は本紙・ホームページでお知らせいたしますので、しばらくお待ちください。

展覧会情報は休館中の施設が多いため、今号は休載させていただきます。



上左はJX通信社のニュースアプリ「NewsDigest」内の特設ページで新型コロナウイルスの感染事例が報告された場所や「クラスター(感染者集団)」の情報を、スマホマップ上でピンポイントに確認できる。

上右はヤフー株式会社の「Yahoo! MAP」アプリ。2020年1月31日に終了した「混雑レーダー」を4月10日に復活させた。外出自粛が進むなか、再開を望む声が多かったことから再提供となった。ビッグデータを使ったリアルタイム情報。



厚生労働省は4月8日、全国の病院の受け入れ態勢などをインターネット上で確認できるウェブサービス「全国医療機関の医療提供体制の状況」を公開した。政府CIOポータルからアクセスできる。主なデータは前日のもの。(URL <https://cio.go.jp>)



## 地図絡み

(一財) 地図情報センター監事 伊藤 等

### ▶ 横須賀線が東海道線から分かれた日

いつもの通勤途上の電車内ではあったが、その日は少々落ち着かなかった。1980 (昭和55) 年10月1日 (水)、横須賀線は鶴見川を越えると東海道線・京浜東北線と分岐し北進し始めた。殆どの乗客が筆者と同様の気持ちで左右の車窓を眺め始めていたのだろう。

曹洞宗大本山総持寺が後方に見え、直進しながら新川崎駅に停車。新駅前後に見える電気機関車・ディーゼル機関車のオンパレードは鉄道好きの筆者には実に魅力的な車窓となった。

横須賀線は北進を続け大きく右に曲がり多摩川を渡り北東方向へと直進。多摩川手前からは東海道新幹線が併走 (さすがに速い!)。西大井駅に到着。その後、北東方向へ直進。左へ右へと新幹線と共に併走しながら東海道線・京浜東北線と再会し品川駅へと到着 (筆者は乗り換え)。しばらくは車窓の目新しさもありキョロキョロしていたが、地図好きは路線探索のため地図を眺める。そして気がついた。横須賀線が生まれ故郷を通過し、転居しなければ入学していた小学校の校舎が見える事を。また、交差する道路は転居先で入学した小学校

近くへ続くなど思い出いっぱいの品鶴線 (貨物線) への路線変更であった事を。

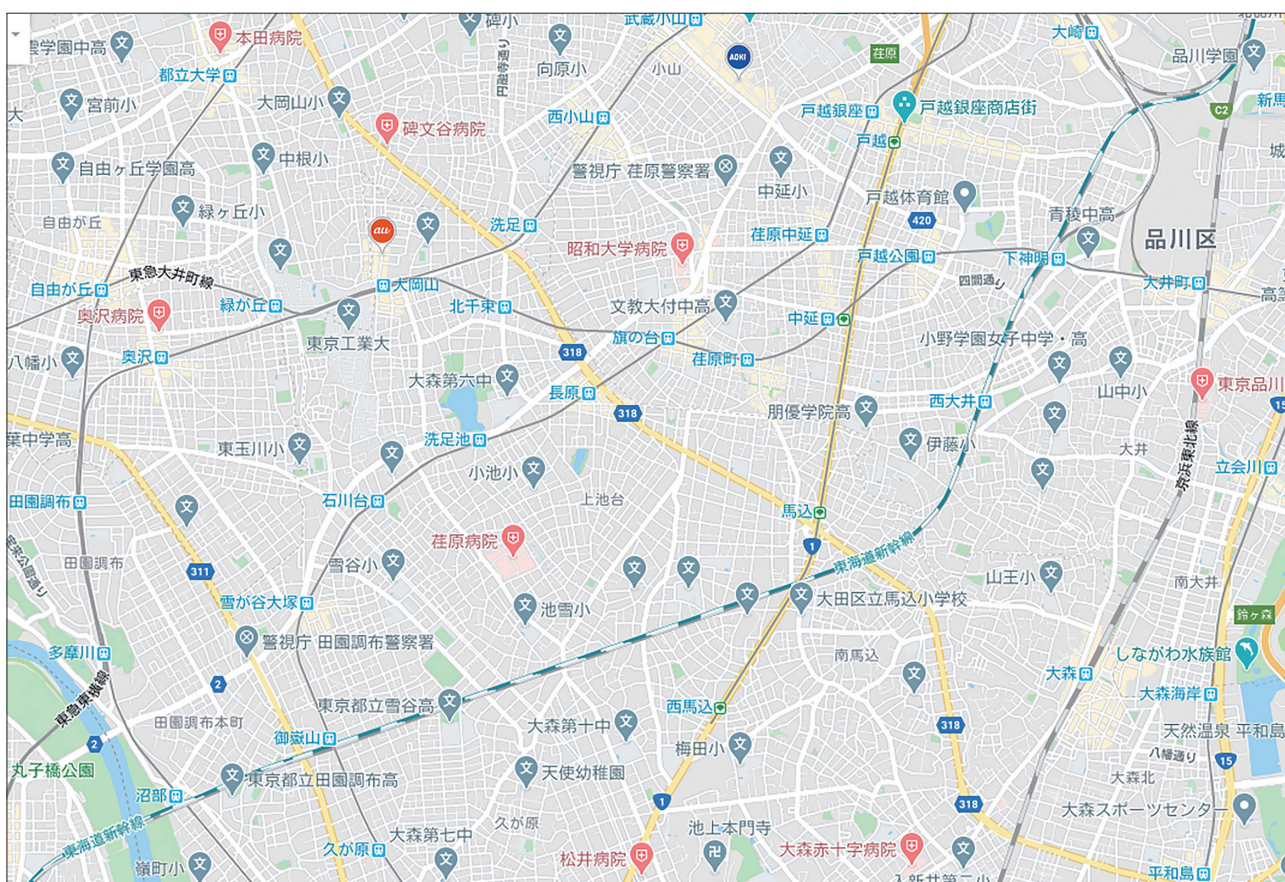
### ▶ 地図はタイムマシン

普段何気なく眺めている車窓でも意識してみると意外な発見があるものである。通勤の車窓と地図が生まれた土地を見つけ幼い頃の記憶を蘇らせてくれた (生まれた頃の記憶はさすがにないが)。

1本の道、鉄道線などを辿って思い出探しの旅を地図の上から行ってみるのはいかがでしょう。地図は無限の情報を秘めている。それを引き出すのは知識と経験、応用力かなと改めて気づかされた。幼児の頃、品鶴線と第二京浜国道が交差する馬込橋で貨物列車を眺めに連れて行ったと祖母が話してくれた記憶が蘇った。

時は過ぎ去り、拙宅最寄り駅から実家まで1本の線路で繋がった現在、その往復に生まれ故郷を通過する事が出来る。また、2019年11月からは小学校の親友宅最寄り駅とは1本の線路で繋がるという幸運にも恵まれ、お土産持参でいそいそと出かけていったものである。こちらも貨物線を旅客用に変更した路線である。鉄道の相互乗り入れは思いも寄らない思い出をもたらしてくれる。地図で路線周辺を眺めてみよう。

(2020.03.15)



横須賀線は東海道新幹線と表記された路線と併走している。「1」と表記された南北の道は第二京浜国道である。記憶にない乳児から小学3年生までの思い出が詰まった路線と道である。地図

は点と線だけではなく面も見せてくれるので思い出が四周に拡大し、デジタル地図は紙地図とは異なり縮小率が変化すると共に情報量も増えるため記憶が鮮明に蘇る事がある。(地図はGoogleマップ)